Sub Title The Mazart transmission in Salzburg (1781-1806) Author Dill, Mit_Nishikawa, Hisao) Publication year 2020 Jate YF#ILL Abstract Arringo Enbit, W.A. モーツアルトの作品が1781年以降にザルツブルクにおいてどのように6. 水され、演奏実践のにおが形成されたのかを解明することであり、2020年3月10日から21日ます、 サルツブルクで実い開着を行なう予定であったが、新型コロナウイルスの蔓延に、りオフィ リンアでは範囲の可解され、事実上、調査が不同能なった。それゆえ調査法院でをしいし、こ までに行なった調査データを整理し、またヨーロッパから取り寄せたモーツアルトの手稿譜のう ジタル画像を活用して、標記の研究を行なった。その結果、以下の健えを持たいするとして、1. オでに行なった調査を活用して、標記の研究を行なった。その結果、以下の健えを持たいするとして、1. オでに行なった調査をご用して、標記の研究を行なった。その結果、以下の健えをなったくためこと、1. マグロターにはそれたしたコビストのうち、とりわけ「芋写名27」は重要であり、この、 物は1780年代にしたオポルト・モーツアルトトを読なりたなさった。それのえ調査によりコートは をたこののが、下間を作成したコビストのうち、とりわけ「芋写名27」は重要であたる。「芋 者な27」は同じ時期に教会音楽だけでなく、モーツアルトの教会音楽の雪ブハート調も残されて、 る。これらのパート間を作成したいろ。 2. 同足発輸住には、1787年以降に作成されたモーツアルトの教会音楽の雪ブハート調も残えたことな されており、レオポルトのが後もモーツアルトの作品を音楽の音楽の「一手のな 演奏され続けていたことが確認できる。そうした大型堂においてオリジナルの作品がえることな な、まれもいけ、レンドンとが確認できる。そうした大型堂にあいてオリジナルの作品がえることな な、 はなりしたのは、当時のサッジノンジロを着えられる。 3. 1787年以降の芋写パート調は、この時期のモーツアルトを算にしていすか信息を気く評価 ていたルイージ・ガッティであったそ表えられる。 3. 1787年以降の芋写パート調は、この時期のモーツアルト演員においてオリジナルの作品が えたりするなどの増置がとられていたことを示している。この時期のサリソブルクにおけをモ ッアルトル演奏の伝統は、ここした実験な環境実践のかで形づくられ、それが19世紀に引き継が ていったと結論づけられる。 This Study aims 10 investigate how Mozarts works have been transmitted and how the radition of performance practice has been formed in Salzburg after 1781. For this purpose I have planned research trip to Salzburg form March 10 b 21, 2020, but because of the outroactive sals 電気がに付けれる。 This study aims 10 investigate how Mozart's works have been relaxed of the new coronavirus main research institution by poins and the radis of the outroin the 17705, as well as the parts added in the 1780. The salzburg. As a result, the following points could be clafiffed.	Title	ザルツブルクにおけるモーツァルト伝承 (1781-1806年)					
Author 西川, 尚生(Nishikawa, Hisao) Publication year クロの Debication year クロの Jatic ワンの Jatic クロの Abstract 本研究の目的は、W.A.モーツアルトの作品が1781年以降にザルツブルクにおいてどのように みまれ、演奏実践の伝統が形成されたのかを解明することであり、2020年3月10日から211日素・ サルツブルクブルクで実践構善を行きの方定であったが、新型コレフクルスの蔓延によりオースト リアでは諸機関が開始され、事実上、調査が不可能となった。それやス調査法行き中しい、こ オープルスの蔓延にすることがす またに行なった調査データを整理し、またヨーロッパから取り帯せたモーツアルトの手描述のす よっ、もこのバトト酸を作成したしてストのうち、いりの「常ちな」のは要れたモーツアルトの手描述の」、この もたいらの「トレ酸を作成したしてストのうち、とりわけ「常可着な7」は重要であり、この、 物は1780年代前半にレオポルト・モーツアルトと認法な関係をもっていたと考えられる。「事 なた」の目い時期に松舎を非応じてなく、モーツアルトと認法な関係をもっていたと考えられる。「事 なた」の目い時期に松舎を非応じてなく、モーツアルトと認法な関係をもっていたと考えられる。「事 なた」の目い時期に松舎を非応じてなく、モーツアルトの教会音楽の筆写バート譜も扱意く されており、レオポルト・の形像もモーツブルトの作品がガルツブルクス整定で読えることなく 演奏され続けていたととが確認できる。そうした大型室におけるモーツアルトの作品を高く評価 ていたルイージ・ガッティであったと考えられる。 3、1787年以降の事気パート間は、この時期のモーツアルトの作品を高く評価 ていたルイージ・ガッティであったと考えられる。 3、1787年以降の事気パート目をも定めしている。この時期のサルツブルクにたおけが えりするなどの措置がたられていたことを示している。この時期のサルツブルクたにおけが えりするなどの措置がたられていたことを示している。この時期のサルツブルクにたおけが えりするなどの措置がたられていたことを示している。この時期のサルツブルクにたおけが えりするなどの措置がたられていたことを示していた。この時期のサルツブルクにたおけが えりするなどの構成がとられていたことを示していた。この時期のサルツブルクがたおけが えりするなどの措置がたられていたことを示している。この時期のサルツブルクにたけが えりするなどの間面がたいたり10~12,1202,014 This study aims to investigate how Mozarts works have been transmitted and how the tradition o performance practice has been formed in Salzburg after 1781. For this purpose 1 have planned a research thip to Salzburg from March 10~21,202,012,302 This study aims to investigate how Mozarts works have been transmitted and how the tradition o performance practice has been formed in Salzburg after 1781. For this purpose 1 have planned a research thip to Salzburg from March 10~21,202,023,024 <th a<="" cathedral="" salzburg="" td="" to=""><td></td><td></td></th>	<td></td> <td></td>						
Publisher 夏爆発動大学 Publication year 2020 Jutie 学事振興賞金研究成果実績報告書(2019.) Jal C DOI Abstract Abstract 本研究の目的は、W.A.モーツアルトの作品が1781年以降にザルツブルクにおいてどのように6 及され、演奏実践の伝統が形成されたのかを解明することであり、2020年3月10日から21日ます、 ザルツブルクで実能調査を行なう方定であったが、新型コロナワイルスの質証によりオースト リアでは諸機関が所聞され、事実上、関金が不可能となった。それめえ間を流行をつたしたして、 までに行なった課題で用して、標記の研究を行なった。その結果、以下の間点をからかてすることがす さた。 1. ザルツブルク大型堂を料館が所蔵するモーツァルトの教会音楽コレクションには、1770年十 に名作品の初涼で使用とた業等所へ下器ではか、1780年代に追加されたバート階をしたが、1770年代 こ名作品の初涼で使用とた業等所へ下器であったが、約型コレクションには、1770年年 に名作品の初涼で使用とたまず所へ下と聞のすか、1780年代に追加されたバート時を見まれて る。これらのパート簡を作成したコビストのうち、とりわけ「筆写者27」は重要であり、この、 がは1780年代に追加された、モーツアルトの教会音楽の軍写パート書も数多く3 されており、レナポルトの死後もモーツアルトの株品がガルツブルクス型室で溢絶えることなぐ 演奏され続けていたことが確認できる。そうした大型堂におけるモージアルトの保品を高く評価し ていたルイージ・ガッア・イであったと考えられる。 3. 2. 同気実制能には、1787年以降に作成されたモーツアルトの教会音楽の軍写パート書も数多く3 されたおり、レナポルトの死後もモーツアルトの体品がブルツブルクス型で溢絶えることなぐ 演奏され続けていたことが確認でを考えられる。 3. 3. 1787年以降の筆写パート書は、この時期のモーツアルト演奏にないてオリジナルの作品形が がなずしも保持されず、演奏機会に応じて走着を知られてい。この時期のサーツアルトの体品を高く評価し ていたルイジ・ガッア・そであったことを示している。この時期のサルツブルクにおけるモー ツアルト演奏の伝統は、こうした柔軟な演奏実践の中で形づくられ、それが19世紀に引き継が がなずしも保持される。 This study aims to investigate how Mozart's works have been transmitted and how the tradition on performance practice has been formed in Salzburg after 1781. For this purpose I have planed a research trip to Salzburg from March 10 b 21, 2020. but because of the outbreak of the new coronavirus main research institutions and libraries in Austina were closed and have the carelet most important of these are the manuscript parts of ducart's munuscripts from Salzburg. As a result, the following points could be claffed. 1. Mozart's hurch music collecetha							
Publication year 2020 Juitle 学事振興資金研究成果実績報告書(2019.) Jalc DOI Abstract 本研究の目的は、W.A.モーツアルトの作品が1781年以降にザルツブルクにおいてどのようにち、 ネされ、漠楽実践の伝統が形成されたのかを解明することであり、2020年3月10日から21日まて、 サルツブルクで実装装備を行なう予定であったが、新型コロナワイルスの蔓延になりオースト リアでは諸機関が開始され、事実上、関連が不可能となった。それやを調査が行き中止し、こよ までに行なった調査テータを整理し、またヨーロップがら取り替とたモーツアルトの情報のう ジタル画像を活用して、標記の研究を行なった。その結果、以下の諸点を明らかにすることが きた。 1. ザルツブルク大量世史料館が所蔵するモーツアルトの教会音楽コレクションには、1770年 に各作品の初演で使用された事写バート譜の住み、1780年代に追加されたパート譜を見されて、 る。これらのパート諸を作成したコピストのうち、とりわけ「事言を打」は重要であり、この、 物は1780年代前半にレオポルト・モーツアルトの教会音楽コレクションには、1770年 に名作品の初点で使用された事写バート譜の住み、1780年代に追加されたパート語を見されて、 る。これらのパート諸を作成してコピストのうち、とりわけ「事言を打」は重要であり、この、 物は1780年代前半にレオポルト・モーツアルトな器な関係をもっていたとを考えられる。「筆 者ご」は同じ時期に終合書ただけでなく、モーツアルト防会会音楽の筆写パート譜も数多く3 されており、レオポートの死後もモーツアルトの体品がサルツブルク大型管で追絶えることな 漢美され続けていたことが確認できる。そうした大量堂におけるモーツアルトの警部に関して重要 な役割を果たしたのは、当時のザルツブルクルクロメールの作品が「サルブルトの理能を高く評価 ていたルイージ・ガッティであったと考えられる。 3. 1787年以降の雪グパート語している。この時期のモーツアルト演奏においてオリジナルの作品形 が必ずしも保持されず、演奏機会に応じて楽曲を短縮したり、原由にない音楽器を新たに付け たりするとの指載が見たられていたことを示している。この時期のゲルツブルンにおけるモ マアルト演奏の伝統は、こうした柔軟な演奏実践のの中で形づくられ、それが19世紀に引き継が ていったと結論づけられる。 This study aims to investigate how Mozart's works have been transmitted and how the tradition of performance practice has been formed in Salzburg after 1781. For this purpose I have planed a research trip to Salzburg from March 10 6 21, 2020, but because the outbreak of the new coronavirus main research institutions and libraries in Austina were closed and I had to cancel m trip. Therefore, I have studied mainty on the basis of the digital images of Mozart's manuscript parts used in the premiser of each work in the 1770s, as well as the parts added in the 1780s. Th most important of these are the manuscript parts by copyis127, who had a close relationship with Leopold Mozart in the eastraft affor the global status parts added in the 1780s. Th most important of these are the manuscrip							
Jittle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2019.) JalC DOI 本研究の目的は、W.A.モーツアルトの作品が1781年以降にザルツブルクにおいてどのように行 本す、演奏実践の伝統が形成されたのかを解明することであり、2020年3月10日から21日ます 、ザルツブルうで実地調査を行なう予定であったが、新型コロナウイルスの蔓延によりオースト リアでは諸機関が開着され、事実上、調査が不可能となった。それゆえ調査旅行を中止し、こされ までに行なった調査データを整理し、またヨーロッパから取り寄せたモーツアルトの手構造の ジタル画像を活用して、標記の研究を行なった。その結果、以下の諸点を明らかにすることがす た。 ・							
JaLC DOI Abstract Arrive The Second Secon	-						
Abstract 本研究の目的は、W.A.モーツァルトの作品が1781年以降にザルツブルクにおいてどのように行 添され、漢要実験の伝統が形成されたのかを解明することであり、2020年3月10日から211日で 、ザルツブルクで実地調査を行ならう子にであったが、新型コロナウイルスの蔓延によりガースト リアでは諸機関が閉鎖され、事実上、調査が不可能となった。それゆえ調査旅行を中止し、こた までに行なった調査データを整理し、またヨーロッパから取り影せたモーツァルトの手構造のう ジタル画像を活用して、標記の研究を行なった。その結果、以下の諸点を明らかにすることが さた。 1. ザルツブルク大聖堂史料館が所蔵するモーツァルトの教会音楽コレクションには、1770年 に各作品の初減で使用された筆写パート簡のほみ、1780年代に追加されたパート簡も残されて る。これらのパート間を作成したコピストのうち、とりわけ「筆写者27」は重要であり、この、 物は1780年代前半にレオポルト・モーツァルトと密接な関係をもっていたと考えられる。「筆 者27」は同じ時期に教会音楽だけでなく、モーツァルトの教会音楽の筆写パート諸も残されて はて180年代前半にレオポルト・モーツァルトのな会音楽の筆写パート諸も残されたこく アン酪集曲のパート諸も作成している。 2. 同足料館には、1787年以降に作成されたモーツァルトの教会音楽の筆写パート諸も数多く3 されており、レオポルトの死後もモージッルトの作品がガルツブルクス聖堂で途絶えることなく 満奏され続けていたことが確認できる。そうした大聖堂におけるモーツァルトの停船形 が必ずしも使持されず、演奏機会に応じて楽曲を感知したり、原曲にない管楽器を新たに付け ガルジョングも使得されず、演奏機会に応じて楽曲を感知したり、原曲にない管楽器を新たに付け ガルジョングも使得されず、演奏機会に応じて楽曲を感知したり、原曲にない管楽器を新たに付け ガルジョングも使持される。 3. 1787年以降の管写パート語は、この時期のモーツアルト演奏においてオリジナルの作品形 がびずしも使持されず、演奏機会に応じて楽曲を感知したり、原曲にない管楽器を新たに付け ガルジョングも使持される。 This study aims to investigate how Mozart's works have been transmitted and how the tradition coronavirus main research institutions and Ibfraction and With こうした柔軟な演奏実施の中で形づく方動、それ、それが19世紀に目を継が ていったと結論づけられる。 This study aims to investigate how Mozart's works have been transmitted and how the tradition of performance practice has been formed in Salzburg diref 1781. For this purpose I have planned 5 research trip to Salzburg from March 10 b 21, 2020, but because of the outbreak of the new coronavirus main research institutions and Ibfractise in Austita were closed and I had to cancel m trip. Therefore, I have studied mainly on the basis of the digital images of Mozart's manuscripts from Salzburg from March 10 b 21, 2020, but because of the outbreak of the new coronavirus main research institutions and Ibfractise in Austita were closed and I had to cancel m trip. Therefore, I have studied mainly on the basis of the digital images of Mozart's manuscripts from Salzburg Cathedral after Leoplot's death. It is probable to ba played continuou at the Sa		学事振興資金研究成果実績報告書 (2019.)					
 凝され、演奏実践の伝統が形成されたのかを解明することであり、2020年3月10日から21日ます 、サルツブルクで実地調査を行なう予定であったが、新型コロナウイルスの蔓延によりオースト リアでは諸機関が開鎖され、事実上、調査が不可能となった。それゆえ調査旅行を中止し、こ までに行なった調査データを整理し、またヨーロッパから取り寄せたモーツアルトの予購證のう ジタル画像を活用して、標記の研究を行なった。その結果、以下の詰点を明らかにすることが きた。 サルツブルク大聖堂史料館が所蔵するモーツアルトの教会音楽コレクションには、1770年 に各作品の初演で使用された筆写バート譜のほか、1780年代に追加されたバート譜も残されてい る。これらのパート譜を作成したコピストのうち、とりわけ「筆写着477」は重要であり、この、 物は1780年代前半にレオポルト・モーツアルトと密接な関係をもっていたと考えられる。「筆 者277」は同じ時期に教会音楽だけでなく、モーツアルトの教会音楽の筆写パート譜も数を<? オだわの十人譜も作成している。 同史料館には、1787年以降に作成されたモーツアルトの教会音楽の筆写パート譜も数を<? され続けていたことが確認できる。そうした大型堂におけるモーツアルトの皆品を高く評価していたルイージ・ガッティであったと考えられる。 オの学れがしたことが確認できる。そうした大型堂における大きなきたることな (演奏され続けていたことが確認できる。そうした大型堂におけるモーツアルトの作品を高く評価していたルイージ・ガッティであったと考えられる。) オの学などの増置がくられていたことがで認知してのモーツアルト演奏においてオリジナルの作品形 が必ずしも保持されず、演奏機会に応じて楽曲を短縮したり、原曲にない警楽器を新たに付け えたりするなどの増置がくられていたことを示している。この時期のザルツブルクにおけるモー ツアルト演奏の伝統は、こうした柔軟な演奏実践の中で形づくられ、それが19世紀に引き継が ていったと結論づけられる。 This study aims to investigate how Mozart's works have been fransmitted and how the tradition of performance practice has been formed in Salzburg Aifer 1781. For this purpose I have planned a research trip to Salzburg from March 10 to 21, 2020, but because of the outbreak of the new coronavirus main research institutions and libraries in Austria were closed and I had to cancel m trip. Therefore, I have studied mainly on the basis of the digital images of Mozart's manuscripts from Salzburg. As a result, the following points could be claiffed. Mozart's church music collection, owned by the Salzburg Cathedral, contains the manuscript parts used in the premiere of each work in the 1770s, as well as the parts added in the 1780s. T most important of these are the manuscript parts by copyist 27, who had a close relationship with Leopold Mozart is and have ard family. The Gathedral archive also works any performance part of piane concerts fo private performance of the Mozart family. The Gathedral archive also works a	JaLC DOI						
inherited until the 19th century. Notes		 ・ザルツブルク大聖堂史料館が所蔵するモーツァルトの教会音楽コレクションには、1770年代 に各作品の初演で使用された筆写パート譜のほか、1780年代に追加されたパート譜も残されてい る。これらのパート譜を作成したコピストのうち、とりわけ「筆写者27」は重要であり、この人 物は1780年代前半にレオポルト・モーツァルトと密接な関係をもっていたと考えられる。「筆写 者27」は同じ時期に教会音楽だけでなく、モーツァルトと密接な関係をもっていたと考えられる。「筆写 者27」は同じ時期に教会音楽だけでなく、モーツァルトの教会音楽の筆写パート譜も数多く残 されており、レオポルトの死後もモーツァルトの作品がザルツブルク大聖堂で途絶えることなく 演奏され続けていたことが確認できる。そうした大聖堂におけるモーツァルトの教会音楽の筆写パート譜も数多く残 されており、レオポルトの死後もモーツァルトの作品がザルツブルク大聖堂で途絶えることなく 演奏され続けていたことが確認できる。そうした大聖堂におけるモーツァルトの容に関して重要 な役割を果たしたのは、当時のザルツブルク宮廷楽長であり、モーツァルトの作品を高く評価し ていたルイージ・ガッティであったと考えられる。 1787年以降の筆写パート譜は、この時期のモーツァルト演奏においてオリジナルの作品形態 が必ずしも保持されず、演奏機会に応じて楽曲を短縮したり、原曲にない管楽器を新たに付け加 えたりするなどの措置がとられていたことを示している。この時期のザルツブルクにおけるモー ツァルト演奏の伝統は、こうした柔軟な演奏実践の中で形づくられ、それが19世紀に引き継がれ ていったと結論づけられる。 This study aims to investigate how Mozart's works have been transmitted and how the tradition of performance practice has been formed in Salzburg after 1781. For this purpose I have planned a research trip to Salzburg from March 10 to 21, 2020, but because of the outbreak of the new coronavirus main research institutions and libraries in Austria were closed and I had to cancel my trip. Therefore, I have studied mainly on the basis of the digital images of Mozart's manuscripts from Salzburg. As a result, the following points could be clarified. Mozart's church music collection, owned by the Salzburg Cathedral, contains the manuscript parts used in the premiere of each work in the 1770s, as well as the parts added in the 1780s. The most important of these are the manuscript parts by copyist 27, who had a close relationship with Leopold Mozart's music collection, owned by the Salzburg Cathedral, contains the manuscript parts used in the premiere of each work in the 1770s, as well as the parts added in the 1780s. The most important of the Mozart family. The Cathedral after Leopold's death. It is probable that Luigi Gatti, who was the court Kapellimeister at that time and highly valued Mozart's works, played a major role in Mozart reception in t					
		inherited until the 19th century.					
	Notes						
Genre Research Paper	Genre	Research Paper					
URL https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000007-20190064	URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000007-20190064					

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。 The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2019 年度 学事振興資金(個人研究)研究成果実績報告書

		予派 天員亚		例 几		_			
研究代表者	所属	文学部	職名	教授	- 補助額	200 (B)	B) 千円		
	氏名	西川 尚生	氏名(英語)	Hisao Nishikawa			U, 11		
			研究課題(日本語	語)					
ザルツブルクに	おけるモーツー	ァルト伝承(1781-1806年							
			,						
			研究課題(英訴	9					
The Mozart Tra	ansmission in S	Salzburg (1781–1806)							
			1.研究成果実績の	○概要					
本研究の目的		ツァルトの作品が 1781 年		いにおいてどのように伝承され、	演奏実践の伝	統が形	成され		
				ルクで実地調査を行なう予定で					
				となった。それゆえ調査旅行					
				のデジタル画像を活用して、標					
		ることができた。							
1. ザルツブル	ク大聖堂史料	館が所蔵するモーツァル	トの教会音楽コレク	ションには、1770 年代に各作品	品の初演で使用	された	筆写パ		
				ート譜を作成したコピスト					
				オポルト・モーツァルトと密接な					
	」は同じ時期に	こ教会音楽だけでなく、モ	ーツァルト家のプライ	'ヴェートな演奏のために、ピア	ノ協奏曲のパー	ート譜も	,作成し		
ている。						s TT /// 1			
				写パート譜も数多く残されてお					
				ことが確認できる。そうしたオ り、モーツァルトの作品を高く評					
であったと考え						1-2-2	1971 1		
		:譜は、この時期のモーツ	ァルト演奏においてオ	- リジナルの作品形態が必ずし	も保持されず	演奉機	会に応		
				けてがとられていたことを示し					
				づくられ、それが 19世紀に引					
られる。									
		2.	研究成果実績の概	要(英訳)					
				d and how the tradition of pe					
formed in Salz	ourg after 1781	1. For this purpose I have	e planned a research	trip to Salzburg from March 1	0 to 21, 2020, I	but beca	ause of		
				aries in Austria were closed					
Therefore, I have studied mainly on the basis of the digital images of Mozart's manuscripts from Salzburg. As a result, the following									
points could be clarified. 1. Mozart's church music collection, owned by the Salzburg Cathedral, contains the manuscript parts used in the premiere of each									
work in the 1770s, as well as the parts added in the 1780s. The most important of these are the manuscript parts by copyist 27, who had a close relationship with Leopold Mozart in the early 1780s. Copyist 27 wrote also manuscript parts of piano concertos for private									
performance of the Mozart family.									
 The Cathedral archive also owns many performance parts of Mozart's church music produced after 1787 and these manuscripts 									
indicate that Mozart's works continued to be played continuously at the Salzburg Cathedral after Leopold's death. It is probable that									
Luigi Gatti, who was the court Kapellmeister at that time and highly valued Mozart's works, played a major role in Mozart reception in									
the Cathedral.									
3. Performance parts after 1787 do not always retain the original form in Mozart performances of this period, shortening the music									
	according to the situation of performance and adding new wind instruments that are not in the original score. It is concluded that the								
performance tradition of Mozart's works of this period was shaped by such flexible performance practices, which were inherited until									
the 19th centu	ry.								

	3. 本研究課題に関する発表							
発表者氏名発表課題名(著者・講演者)(著書名・演題)			発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)				
西川	尚生	演題∶最近のモーツァルト研究から —オペラ、教会音楽、交響曲を中 心にー		2019 年 11 月 30 日、於お茶 の水クリスチャンセンター				

1